

平成 31 年

雲南市議会 3 月定例会
会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 平成 31 年 3 月 1 日】

平成31年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者		質問方式	ページ
			議席番号	氏名		
1	3月1日(金) 午前9時30分～	明誠会	2 /	中林 孝	一括	1～4
2		清風雲南	7 /	白築 俊幸	一括	4～6
3	3月1日(金) 午後1時00分～	フォーラム志民	3 /	松林 孝之	一括	7～9

平成31年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

平成31年2月26日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	明 誠 会 中 林 孝 (一 括)	1. 雲南市立病院に ついて 2. 財政規律につい て 3. 消費税増税につ いて 4. 保育の無償化に ついて	(1) この3月をもって雲南市立病院の松井事業管理者、秦副管理者ご両名がご退任となる。事業運営に支障が出ないようにしなければならないが、4月以降の体制と運営方針を伺う。 (2) 後任への想い、引継について伺う。 (1) 中期財政計画によると基金の取り崩しが続く。今後の市政運営に影響は出ないか。 (2) 普通建設事業費が3～5年後には10億円台に減少する計画となっている。一方、学校校舎の建て替え等、避けて通れない大きな事業が控えている。どう対応するか。 (3) 一般財源が限られる中、大型事業を進めれば財政指標の悪化は避けられない。財政の健全性は保てるか。 (1) 本年10月に予定されている消費税増税は本市にどのような影響を与えるか。 (2) 政府は消費税増税対策としてキャッシュレス決済を行えばポイント還元する施策を打ち出している。現在、本市においてキャッシュレス決済を行っている該当事業者はどれくらいあるか、また、市民は市内でどの程度キャッシュレス決済を行っているか(例えばクレジット決済、電子マネー、コード決済)。 (3) キャッシュレス決済化に向けた動きに対し、本市としてどのような対策で臨むか。 (1) 保育の無償化により自治体の財政等の負担増はあるか。 (2) 無償化により逆に負担が増える世帯があるとも指摘されている。本市で負担が	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		5. 災害時に備えた 対策について	<p>増えると想定される世帯はあるか。</p> <p>(3) 無償化に伴い保育短時間から保育標準時間へ移行が増加することが想定される。増加した場合、保育士が更に足りなくなる恐れがある。対策を伺う。</p> <p>(4) 3歳児の保育希望が増えることも予想される。希望が多ければ3歳児の待機児童が発生、増加することも想定される。対策を伺う。</p> <p>(5) 保育ニーズの変化も考えられる。新たな保育所建設の考えはないか。</p> <p>(6) 給食食材費は対象外であり、実費の徴収事務が発生する。ただでさえ繁忙を極める保育現場の負担が増加する懸念があるが対策を伺う。</p> <p>(7) こうしたことで更に保育士が不足する。待遇改善が急務と考えるが対応策を伺う。</p> <p>(8) 新制度移行後、交付税の一般財源化で公立から私立への流れが出てきた。現状、大きな問題は生じていないが、保育の質など様々な悪影響が出てくると言われている。保育行政は自治体の責務であり子育てにやさしいまちを標榜する雲南市としても真剣に取り組まなければならないが、本市の保育行政の基本方針を伺う。</p> <p>(9) ゴールデンウィークが10連休となる。保育業務に支障は出ないか。小中学校でも授業日数など影響が少なからずあると思われるが、対策を伺う。</p> <p>(1) 本年4月の機構改革で防災部の新設が予定されている。目的と期待される効果について伺う。</p> <p>(2) 水害対策について伺う。平成24年に国交省が公表したパイピング破堤の危険性のある箇所が県内には斐伊川水系など11カ所あるとの報道があった。また、破堤のリスクに加え集中豪雨時の排水ポンプの処理能力、バックウォーター対策について伺う。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>6. 定住対策について</p> <p>7. 木次線について</p>	<p>(3)ハザードマップは正確か、インクの薄れで認識できないマップもある。先人の知恵を生かし、マップの更新や電柱表示による周知も必要だ。</p> <p>(4)万一の場合の情報収集、情報通信にラジオや携帯電話は欠かせない。本市内には今なお不感地帯があり（ラジオ＝掛合の入間、携帯＝海潮の沢池近辺、その他）対策が必要だ。</p> <p>(5)非常時に備え訓練も必要だ。訓練がより必要なのは身体が不自由な方である。どのように訓練を進めるか。</p> <p>(6)原発事故時の避難対策について伺う。受け入れ側である広島県の準備不足が報道されているが、どう対策を進めるか。また、身体が不自由な方に対し、どのような訓練をどのように進めていく計画か。</p> <p>(1)人口減少が続いている。雲南市総合戦略で人口の社会増の結果が出ていない。施策を見直していくのか、認識と対策を伺う。</p> <p>(2)国においては、地域人口の急減に対する対応策として「特定地域づくり事業協同組合」構想が進められている。本市としてどのように取り組んでいくか、どのように活用し、そのために今から準備すべきことは何か、伺う。</p> <p>(3)31年度の新規事業として「東京23区からの移住支援事業」が計画されている。前項とどうリンクさせ、活用していくか。</p> <p>(1)トロッコ列車の更新状況について伺う。</p> <p>(2)トロッコ列車の更新については、本市としての方針を固めたうえで支援が必要なら関係者と協議を重ねるべきだ。どう進めているか。</p> <p>(3)業務委託している加茂中駅や出雲大東駅は売り上げが増加するなど成果が出ている。また、地元沿線住民が頑張っ情報発信やボランティアを行っていることも</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			心強い限りである。頑張っている団体、個人等に支援する必要があるのではないか。	
2	清 風 雲 南 白 築 俊 幸 (一 括)	1. 地域包括ケアシ ステム 2. 農林業施策	<p>(1) 「住み慣れた地域で、誰もが自分らしい暮らしを人生の最後まで住み続けることの出来る地域を創ること」を目的とした重要なシステムであるが、現在、何がどこまで整備されたのか、今後は何をどう整備していくのか伺う。</p> <p>(2) 本年 4 月から、地域包括支援センター業務の一部を雲南市社会福祉協議会に委託することになっているが、住民福祉の向上に対し、どの様に機能するのか伺う。</p> <p>(3) 委託後の事務所は、本庁と大東に置くとのことであるが、それ以外の 4 町のサービス体制はどう確保されるのか伺う。</p> <p>(1) 市長は、常々、本市の農業について、競争より共生、拡大より維持、成長より安定と言っておられる。また先般、国連総会で採択された「小農宣言」について、我が国は採択を棄権したことに対し、小農とは規模の大小ではないとの答弁もしておられる。理念としては異論ないが、要は具体策である。地域政策としての農業振興の方向を伺う。</p> <p>(2) H29 年度現在、市内に 89 の集落営農組織が活動している。今、組織が抱える最大の課題は、設立や運営の中核を担ってきたメンバーが、引退時期を迎え、次の世代のリーダーやオペレーターが確保出来ないことである。その対応策として、現在の集落を単位とした営農組織は存続させながら、集落営農を広域化することではないかと思う。集落で完結するところと広域で行うところを整理し、従来の集落を基礎とした集落営農が存続できる仕組みをつくる必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(3) 中山間地域等直接支払制度については、第 4 期対策が H31 年度で終わり、H32 年度から第 5 期対策が始まる。本市での取組み集落協定数は減少傾向にあるが、高齢化が進行する中で、生産対策の面が強すぎることで、事務処理が煩瑣であること等</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		3. いじめ対策	<p>から、次期対策では、さらに減少することが危惧される。今後、国において次期対策の検討が本格化すると思うが、これまでの取り組み実績を踏まえ、市として次期対策に向けて、国に望むことは何か。</p> <p>(4) 林業についても、成長産業に位置づけられ、その法的根拠として、昨年、森林経営管理法が成立した。その方向は、1 つは林業経営を集約型にして稼げる林業を目指すこと、2 つに条件不利地の林業に向かない森林は、市町村等の公的管理に委ねると言うことである。本年4月の施行に向けて、施政方針にも述べられているが、林業の専門職がない本市において、どの様に対応されようとしているのか具体策を伺う。</p> <p>(5) 子ども達が、緑を愛し、守り育てる活動を通じて、心豊かな人間に育って行くことを目的とした緑の少年団の市内における団体数、及びその活動状況について伺う。</p> <p>(1) いじめ対策について、先般、次のような記事を読んだ。謂く、「スマホの普及に伴って、いじめっ子像が様変わりしている。漫画のドラえもんに例えると、今のいじめっ子と言うのは、必ずしもジャイアンタイプではなく、優等生のしずかちゃんタイプが急増している。文科省が示すいじめ対策に、加害者の出席停止がある。ジャイアンなら出席停止にすれば、いじめは収まる。だが、しずかちゃんは尻尾をつかませない。いじめがあっても、先生は暴走してしまうから相談しない。頼みもしないのに、ホームルームや学年集会で大問題にするから。」等々である。様々な子どもたちの幼く、複雑・多感な思いを受け止めて対応しなければならない現場の先生方の御労苦を思う。本市のいじめの実態と、どの様に対応されているか伺う。</p> <p>(2) 子ども達のスマホ利用とゲーム機使用について、学校ではどの様に指導されて</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>4. ふるさと納税</p> <p>5. 総合センターの 活力</p>	<p>いるのか。</p> <p>(3)先日、文科省は小中学校への携帯・スマホの原則持込み禁止の見直しに着手したとの報道があったが、現場としてどの様に受け止めておられるのか伺う。</p> <p>(1)ふるさと納税の返礼品について、総務省は、寄付額の3割以内とすることとされ、また、最近、返戻品は地場産品に限定する旨の方針が示されたが、要件を緩和して欲しいとの要望があると聞く。本市の返礼品は、全てが市内産品で賄われているのか。</p> <p>(2)具体的には、どの様なものが返礼品として使われているのか伺う。</p> <p>(3)H20年以降昨年度まで、延べ4,300人余から約2億1千万円の寄付を頂いているが、寄付された方の市区町村別の人数はどの様な状況か。</p> <p>(4)寄付される方は、毎年度固定しているのか、あるいは、ばらばらなのか。</p> <p>(5)制度発足当初から返礼品目当ての寄付になってしまうこの制度は、本来の趣旨にそぐわないと思っているが、ふるさと納税に対する市の基本的な考え方について伺う。</p> <p>(1)各総合センターから事業管理課が、本庁に集約されて数年たった。積雪時の連絡等については、本庁の担当課に専門窓口があるが、一般市民からは連絡しにくく、いきおい、総合センターに電話することになるが、スピード感がなく、取次ぎ機能だけで不満も多い。</p> <p>本庁は施策を決定するところ、総合センターは、その決定に基づく実行機関と言う位置付けにはなると思うが、もっと総合センターのモチベーションを上げ、能動的、主体的な判断、行動ができるような体制にすべきと思うが、組織論としての見解を伺う。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		3. 教育の重点ビジ	<p>①生産農家減少の大きな要因は、ぶどう園への配水施設や農業用ハウス等の設備の老朽化である。イニシャルコスト、ランニングコストとも負担が大きく、担い手育成や事業承継に踏み切れない大きな課題となっている。この度のリースハウス事業が創設されたが、ぶどう用ハウスは対象外である。適用枠の拡大やポンプ改修の支援などが必要では。</p> <p>②県の試験場から試作事業を受け、本年「神紅」という名の新品種が実を結ぶ。県では唯一であり、今後も県が生産管理を行い、県外では栽培できない品種である。本市の特産品として位置付け、ふるさと納税返礼品としても期待できるぶどう栽培の生産力向上に力をいれてはどうか。</p> <p>(2) 商工業について</p> <p>①雇用の場の創出として企業団地整備が進められ、いよいよ供用開始である。</p> <p>イ. 本年度事業開始となる神原企業団地の誘致状況は。</p> <p>ロ. UI ターン者を対象に IT 系事業職場の誘致事業が示されたが、三日市ラボのような施設を各町の空き家対策事業で広げてはどうか。</p> <p>②中心市街地活性化事業は、市民の期待に応えられる街並み形成とならなければならない。</p> <p>イ. SAKURA マルシェが 7 月、元気パークが 8 月竣工となった。SAKURA マルシェの出店状況は。</p> <p>ロ. ホテルの用地取得も完了し進出が平成 32 年度との発表であるが、契約状況は。</p> <p>ハ. 消費・観光の誘客を進めると共に、キャッシュレス社会に対応しなければならない。市内の商業者の対応状況は。支援が必要ではないか。</p> <p>(1) 学校教育について</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>ヨンについて</p> <p>4. 重要施策の推進 と「雲南第一主義」 について</p>	<p>保幼小中高の一貫したキャリア教育に取り組む雲南市であるからこそ、明確な構想と具体的なビジョンが示されなければならない。</p> <p>①公共施設の効率的なあり方から、適正規模適正配置による学校施設も同様の考え方で計画を推進しなければならない。小中学校、さらに高校まで捕まえた構想を伺う。</p> <p>②市内3高校は市立高校的な位置付けで魅力化に取り組むとされたが、その推進に対しどのようなビジョンを持っているか。</p> <p>(2) 社会教育について</p> <p>健康づくり拠点施設が整備されスポーツ振興の意識は高まる一方である。</p> <p>①島根国体を見据えた本市のスポーツ振興のスタンスを伺う。</p> <p>(1) 重要・重点施策について</p> <p>人口の社会増を最大目標とした平成31年度予算は、市内を元気にすることが目的であるべき。</p> <p>①大型事業が目白押しの予算が示された。何より大切なことは地元事業者により「実行、運営、展開、建設」が行われることである。誰のための事業でもなく、市民のための事業である。市内経済の好循環のためには「雲南第一主義」を唱え、大型事業を始めとする施策の推進は地元事業者による事業実施を図ることが最重要ではないか。</p>	